

ヘイトクライムおよびバイアス事案

ヘイトクライム（憎悪犯罪）とは？

ワシントン州において、ヘイトクライムとは、相手の推定される人種、肌の色、宗教、家系、国籍、性別、性的指向、性表現や性自認、または精神的・身体的・感覚的障がいに基づいて、相手に対して悪意をもって意図的に行われる暴行、物的損害、またはそれらの脅迫行為を指します。

ワシントン州でヘイトクライムは重罪で、最大5年の懲役刑および/または10万ドルの罰金が科されます。ヘイトクライムの被害者は加害者に対して民事訴訟を起こし、実際の損害賠償のほか、最大10万ドルまでの懲罰的損害賠償、訴訟で発生した弁護士費用、その他の合理的な費用の支払いを求めることができます ([Revised Code of Washington \(RCW、ワシントン州改正法典\) 9A.36.080](#))。

バイアス事案（偏見による事案）とは？

ワシントン州においてバイアス事案とは、相手の実際または推定される人種、肌の色、信条、宗教、家系、国籍、市民権または移民ステータス、性別、名誉除隊した退役軍人または現役軍人のステータス、性的指向、感覚的・精神的・身体的な障がい、または障がい者による介助犬や介助動物の使用に基づいて、相手に敵意を伴う感情を表現する行為を指します ([RCW 43.10.305\(5\)\(a\)](#))。特性の一覧は、ワシントン州ヘイトクライム法で定められている特性と、Washington Law Against Discrimination (ワシントン州差別禁止法) によって保護対象となる属性の両方を示しています ([RCW 49.60.030\(1\)](#))。

「敵意を伴う感情の表現」とは、憎悪や偏見に基づく意見を、無礼かつ非友好的、あるいは攻撃的な態度で表現することを意味します。バイアス事案とは犯罪または刑事事件のレベルには至らない事案を指します。バイアス事案の例には次が含まれますがこれに限定されません。

- 相手の推定される特性や保護対象となる属性に基づき、侮辱するような言葉を使うこと。
- 相手の推定される特性や保護対象となる属性に基づき、人種差別的または侮辱的な画像や描画を作成すること。
- 障がいまたは文化的な慣習や慣行を持つ相手を嘲笑うこと。

ヘイトクライムおよびバイアス事案ホットライン

ワシントン州 Attorney General's Office (AGO、司法長官事務所) は、2024 年に立法府で可決され、[RCW 43.10.305](#) に法令化された [Senate Bill \(SB、上院法案\) 5427 \(2024\)](#) のもと、Hate Crimes & Bias Incidents Hotline (ヘイトクライムおよびバイアス事案ホットライン) を設置するよう指示を受けました。このホットラインは、通報者に対して被害者支援を中心に行い、文化的な配慮とトラウマへの理解を重視した地域サービスに関する情報や紹介を提供し、可能な限り多言語で対応する必要があります。ホットラインはクラーク郡、キング郡、スポークン郡で、2025 年 7 月 1 日より利用できるようになり、2027 年 1 月 1 日より州全体で利用できるようになります。ホットラインは緊急通報用ではありません。緊急事案を報告する場合は 911 に電話するよう指示されます。

憎悪や偏見によって被害を受けた方は、移民ステータスに関わらず、ホットラインに電話して事案を報告し、支援サービスに関する情報を得ることができます。通訳サービスも利用可能です。ホットラインが紹介するサービス提供機関は、身体の健康やメンタルヘルス、法的支援、文化的な関連サービス、被害者擁護などを含むさまざまなサービスを提供します。

ホットラインに報告された個人を特定できる情報は保護され、公開されることはありません。保護される情報には氏名、過去の法的氏名、別名、母親の旧姓、生年月日、出生地、住所、郵送先住所、電話番号、E メールアドレス、社会保障番号、運転免許証番号、銀行口座番号、その他の身元を特定する情報が含まれます ([RCW 43.10.305 \(5\) \(g\)](#))。

法律により、ホットラインは、通報者が警察に通報したかどうか、および通報を希望するかどうかを尋ねる必要があります。ホットラインから警察への紹介は、通報者の同意がある場合にのみ行われ、共有される身元特定情報も通報者が希望したものに限られます。警察は憎悪または偏見事案の通報者にホットラインの連絡先情報を共有することが義務付けられています。